

平成 29 年度社会福祉法人しののい福祉会 事業報告

この法人は、施設利用者及び相談支援事業利用者の意向を尊重して、利用者個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。

1 実施事業

- (1)障害福祉サービス多機能型事業所 ポーチ有旅の丘 の経営
- (2)指定特定相談支援事業所 ポーチ有旅の丘 の経営

2 監事監査の実施(平成 29 年 5 月 16 日)

3 理事会・評議員会の開催

- (1)第 1 回理事会(平成 29 年 5 月 21 日)
 - ・平成 28 年度事業報告の審議
 - ・平成 28 年度決算報告及び監査報告の審議
 - ・定款細則及び監事監査規程の改正
 - ・理事及び監事の退任
 - ・社会福祉充実計画の審議
 - ・定時評議員会の開催日時及び提出議案
- (2)定時評議員会(平成 29 年 6 月 18 日)
 - ・平成 28 年度事業報告
 - ・平成 28 年度決算の承認
 - ・社会福祉充実計画の承認
 - ・理事及び監事の選任
 - ・役員報酬規程の改正
- (3)第 2 回理事会(平成 29 年 6 月 25 日)
 - ・理事長の選出
- (4)第 3 回理事会(平成 29 年 11 月 19 日)
 - ・平成 29 年度中間事業報告の審議
 - ・平成 29 年度中間予算執行状況の審議
- (5)第 4 回理事会 (平成 30 年 3 月 25 日)
 - ・平成 30 年度事業計画及び当初予算の審議
 - ・平成 29 年度補正予算の審議
 - ・経理規程及び職員給与規程の改正

4 職員体制(平成30年3月31日現在)

施設長(兼管理者)1、事務長1、サービス管理責任者1、相談支援専門員1、生活支援員2、職業指導員5、調理員2、看護師1

14名(内正規職員7名)

5 主な事業(平成30年3月31日現在)

I 障害福祉サービス多機能型事業

1 利用者の状況

(1) 利用者数(定員と現員)

定員40名 現員41名

(2) 入退所者

- ① 入所者 1名(男性1)
- ② 退所者 0名

(3) 支援が困難な利用者の状況

長期欠席者 2名(心身の不調で自宅療養)
その他 2名(週1~2日の通所)

(4) 療育手帳・障害区分別利用者数

手帳の種別	A1	A2	B1	B2	その他	計
人数	15	3	19	2	2	41

(5) 年代別及び地域別利用者数

年齢区分	20~24	25~29	30~39	40~49	50~	計
男	5	5	8	6	1	25
女	0	5	4	4	3	16
計	5	10	12	10	4	41

長野市北部 2名 長野市南部 32名
千曲市 6名 坂城町 1名 (平均年齢 35.7歳)

2 実施事業の状況

生活介護事業及び就労継続支援B型事業の2事業を実施しました。

(1) 生活介護事業(定員12名 現員10名)

自立した日常生活と社会生活への参加を促進するため、利用者個々の状況に応じた生活支援や生産活動・創作活動等を実施しました。(果実梱包ネット作業、製菓

納品、対面販売、絵画、音楽、エンジョイデー等)

また、看護師を中心に利用者の健康状態をチェックするとともに、健康保持のために必要な支援を行いました。(バイタルチェック、健康相談、散歩、ラジオ体操等)

(2) 就労継続支援 B 型事業 (定員28名 現員31名)

働く意欲の高い利用者に就労の機会を提供するとともに、実習の場をとおして作業意欲の向上や社会性を身につけ、また、一般就労に必要な知識及び能力向上のための訓練を適切かつ効果的に実施するなかで、社会的・経済的自立を目指すこととし、利用者の希望や適性等を考慮して、4班に分かれて事業を実施しました。

また、地域でより豊かな生活ができるよう、必要な知恵やマナーを習得するための支援を行うほか、メリハリのある日課を構築するために、余暇活動、季節の行事(花見、一泊旅行等)やエンジョイデーを実施するとともに、軽スポーツやストレッチを行い健康と体力の維持を図りました。

ア 販売営業班(現員 11名)

自主製品の販売や受託事業等の機会をとおして、一般就労に必要な知識及び能力を身につける訓練を実施しました。また、ハローワーク等関係機関と連携し就職活動を行いました。

施設外就労(一般企業へ出向いての作業)、受託事業(官公庁等での清掃作業、野菜の収穫等)、自主製品の販売及び委託販売先の確保(27か所)、さらに商標契約(松代焼六文銭)を行い、新たな付加価値を高めることに努め、事業収入及び工賃の確保を図りました。

イ 陶芸班(現員 6名)

松代焼の自主生産活動をとおして、利用者の作業意欲の向上や社会生活に必要な知恵やマナーの習得を図りながら、社会的経済的自立を目指しました。

販売促進のため、商品の質の向上(青を復活させ緑を残す・ピンホールを消す・釉薬の溶け具合を調整し3種類に分け、炉内の上から下までむらなく綺麗に焼けるように、作品の形状ごとに掛ける釉薬と焼成時の最適な場所を探る)に努め、事業収入及び工賃の確保を図りました。

ウ 製菓班(現員 5名)

菓子類の自主生産活動をとおして、責任感を高めるとともに皆で協力する心を育て、働くことの意義や自信を習得することを目標とし、衛生面には徹底的に気を付け、食品製造に関わる事を自覚し、作業技能向上と共に社会的経済的自立を目指しました。

販売促進のための新商品の開発や賞味期限の長期化に取り組むとともに、販売営業班との協力により販路拡大に努め、事業収入及び工賃の確保を図りました。

エ アート班(現員 9名)

自己確立の一環として、利用者個々の趣味や特技そして個性を活かした、裁縫(ミシン・手縫い等)におけるぬいぐるみや絵画・粘土作品などの手工芸品の制作、

松代焼の皿づくり、絵画や音楽活動等の支援を実施しました。

これらの活動のなかで、衣食住(着替え、食器片付け、清掃等)に必要な基本的習慣を身につける生活技能、社会生活上必要なマナーや知識(金銭・時間の管理、交通マナー等)を身につける社会活動技能を習得するための支援を実施しました。

3 授産活動(就労支援事業)の状況

利用者の希望や適性等を配慮して6種類(販売営業、陶芸、製菓、手工芸品、下請、農作業)の授産活動を行いました。

前年度と比べ、事業収入は約49万9千円(対前年比91.5%)の減で、工賃支払額は約12万3千円(対前年比96.6%)の減となりました。

(単位:円)

事業名	作業内容	利用者数	職員	事業収入	
就労支援B型	販売営業班	製品販売、受託作業	10名	鹿野ほか	1,944,779
	陶芸班	松代焼の製造、販売	6名	森岡ほか	1,605,025
	製菓班	菓子類の製造、販売	5名	山口ほか	1,041,309
	アート班	手工芸品・籐細工の製作・販売、陶芸等	10名	小山ほか	315,952
生活介護	下請(果実ネット梱包)農作業等	10名	飯島ほか	401,307	
計		41名	5,308,372 (内工賃 3,482,660)		

(注)内部取引(292,664円)を含む。

4 地域福祉サービス体制の状況

- (1) 家族及び地域住民との連携を深めるため、日頃の活動状況等を周知する広報紙(とんぼ通信、ポーチだより)を配付するとともに、施設祭(ポーチとんぼまつり)を開催しました。
- (2) 施設利用希望者への情報提供と、現場実習や体験実習を受け入れるため養護学校等と連携するとともに、当事業所の活動内容を多くの方にPRするため、地域の販売会や各種イベントに積極的に参加しました。

5 主な行事

月	日	行 事	日	参観・現場実習等
4	3 14・18・19 15 22	辞令交付・利用者会 月レク(お花見) エンジョイデー(春野菜パンケ ーキ) エンジョイデー(茶臼山動物園 ・生け花展:2本立て) おたのしみ会(延べ13回)	4~28	体験実習(服部)
5	8 19・23・26 13 20 27	辞令交付、避難訓練 月レク(ボーリング) エンジョイデー(プラネタリウム) エンジョイデー(オムライス) エンジョイデー(カラオケ) おたのしみ会(延べ10回)		
6	1 9・16・20 13	辞令交付 月レク(バッティングセンター) 苦情解決第三者委員 おたのしみ会(延べ10回)	5.30~ 6.6	体験実習(稻養・安川)
7	2 7 16 20~21	エンジョイデー(冷やし中華) 七夕 エンジョイデー(稻荷山祇園祭) 一泊旅行(池の平ホテル) おたのしみ会(延べ6回)	13 27	福祉医療大学生体験(北原) 稻荷山養護PTA23名見学
8	10 5 26	月レク(バーベキュー) エンジョイデー(ふるさと漫画館) エンジョイデー(冷やしうどん) おたのしみ会(延べ8回)		
9	2 12・15 15 22	エンジョイデー(ふれあい音楽祭) スポーツレク(アスレチック) 総合消防訓練 健康診断 おたのしみ会(延べ13回)	8 16~17	日赤奉仕団16名見学 県障がい者文化芸術祭 作品展(3名 出展) 優秀賞2名

月	日	行 事	日	参観・現場実習等
10	13 28	ポーチとんぼまつり エンジョイデー (ハーモニー夢まつり)	23 25～ 11.8 27	厚生連見学4名 体験実習 (安川:稲養3年) 辰野美術館学芸員 見学2名
11	2 11 18	月レク(やきいも会) エンジョイデー(きのこ鍋) エンジョイデー(かっぱ寿司)	11.11～ 11.26 16	創造の王国展 4名出展(辰野美術館) 長野篠ノ井老人クラブ タオル寄贈
12	1 7 2 15 16 28	シェアプラスイベント参加 手をつなぐ育成会見学7名 エンジョイデー(お好み焼き) 月レク(クリスマス会) エンジョイデー(茶臼山動物園) 仕事納め・だるま目入れ	23～24	文化芸術祭「優秀賞」 作品展 2名 上田サントミュージゼにて
1	5 20 27	月レク(新年会) エンジョイデー(キムチ鍋) エンジョイデー(ラウンドワン)	4～31	文化芸術祭「優秀賞」 作品展 2名 長野サンアップルにて
2	2 2 21 18～20	月レク(節分豆まき) 避難訓練 健康診断(嘱託医) ナイスハートバザールin長野		
3	9・16・20 17	月レク(カラオケ) エンジョイデー(焼きうどん)		

6 経営・人事管理

(1) 基本方針

障害福祉サービス多機能型事業所として、利用者が安全で安心して生活できる施設運営を行うとともに、利用者の自立と社会経済活動への参加を促進するため、作業等をとおして「生活する力」を身につけ、地域社会で豊かな生活を営むことができるよう、将来を見据えた個別の支援計画に基づいた支援を実施してきました。

(2) 決算状況

施設収入については、利用者数の増加により、予算額を上回る額を確保することができました。

また、効率的な予算執行に努めた結果、43万円程資金収支でプラスとなりました。

就労支援事業収入は、販売営業班が新たな受託販売先、訪問販売先、納品先の拡大に取り組むとともに、松代焼の質の向上、製菓における新商品の開発や賞味期限の長期化など図りましたが収入が減少しました。

引き続き、顧客のニーズに合わせた商品開発に努めるとともに、商品の質の向上、販売先の見直し、新たな固定客の確保に努めていく必要があります。

(3) 社会福祉充実計画

平成 29 年度から平成 33 年度までの社会福祉充実計画の内、本年度は施設の照明設備をLED化する施設整備事業(970,920 円)と職員の期末手当を増額する処遇改善事業(560,000 円)を実施しました。

(4) 人材の育成

各種機関が実施する研修会・講習会への参加や、施設内の職員会議、支援員会議等をとおして、職員の資質の向上を図りました。また、利用者サービスを迅速・適格に実施するため、職員間の情報の共有化に努めました。

(5) 社会参加

安曇野市穂高会館で開催された、第 20 回長野県障がい者文化芸術祭作品展の「絵画の部」に3名が出展し、県で優秀賞 3 点の内、当施設から 2 作品が優秀賞(長野県教育委員会賞、長野県社会福祉協議会長賞)に選ばれました。

7 管理業務

(1) 健康管理及び衛生管理

嘱託医等による定期健康診断のほか看護師による健康相談を実施し、疾病等の早期発見・治療に努めました。併せて、利用者が普段どおりの生活ができる支援に努めるとともに、ラジオ体操や散歩を実施しました。

また、手洗い・うがいを励行し、ノロウイルスやインフルエンザなどの感染予防に努めるとともに、食品製造においては、法令に定められた衛生管理の実施と器具類の安全管理に努めました。

給食は、利用者の嗜好調査に基づき調理し、食品衛生の徹底に努めました。

人権侵害につながる虐待等の発生を防止するため、人権擁護の職員研修を行うとともに、利用者間のトラブル防止のための生活指導に努めました。

(2) 防災対策

火災や自然災害を想定した総合消防訓練及び避難訓練を実施するとともに、消防設備等の点検を実施しました。

総合消防訓練では、避難訓練に加え火災消火器による消火訓練を体験しました。

(3) 苦情解決

利用者サービスの向上・充実を図るため、利用者、保護者等からの意見・要望・苦情については、苦情解決の「第三者委員会」を開催するとともに、内部検査を実施し、利用者の立場からの業務の見直し、改善に努めました。

(4) 個人情報の保護

個人情報については、定款細則及び運用規程により、目的に沿った情報収集、利用、提供等利用者の同意に沿った適切、厳正な運用を行いました。

Ⅱ 指定特定相談支援事業

障害福祉サービス等の利用を必要とする場合に、総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ、最も適切なサービスの組み合わせ等について検討し、サービス等利用計画を作成します。

困っていること、悩んでいること、知りたいこと等のご相談や、来所、電話、訪問での相談も行っています。また、一定期間ごとにモニタリング(計画の見直し)をし、必要に応じて計画の変更も行います。

1 事業の実施状況

ポーチ有旅の丘利用者のサービス等利用計画の作成及びモニタリング(サービス等利用計画等の実施状況の把握)を実施しました。

サービス等利用計画の作成に当たっては、利用者本人、ご家族からのご相談をお聴きした上で、市のケースワーカーや関係機関、相談支援専門員が連携を図るなかで、より自立した日常生活や社会生活を送ることができるよう、助言や情報提供等を行いました。

計画相談支援給付費収入額は約100万7千円で、前年比106%の増加となりました。

2 職員研修

相談支援専門員は外部研修に積極的に参加してスキルアップを図るとともに、事業所内研修を実施しながら、職員の資質の向上に努めました。

3 相談支援実施状況

(単位:人)

実施月	サービス等利用計画	モニタリング
4	3	2
5	5	1
6	4	2
7	2	3
8	3	0
9	7	3
10	2	4
11	1	5
12	1	3
1	3	2
2	0	3
3	3	6
計	34	34